

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|--|--|
| (整理番号) 127 | 提案機関名 (社)神奈川県園芸協会(県果樹組合連合会) |
| 要望問題名 ウメ樹体ジョイント仕立てにおける、小規模栽培技術の検討について | |
| 要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 ウメの樹体ジョイント仕立てについては、栽培マニュアルが作成され、県内のウメ産地においても既に導入されています。一方、近年のウメ生産は、関西の産地から関東方面への出荷の増加や、中国等海外からの加工原料としての輸入などにより、販売価格が低迷し、厳しい経営環境となっています。 そこで、ウメジョイント栽培の導入に係る初期経費の削減や、県育成新品種による早期ブランド化を図るため、簡易資材や既存資材等を利用した、小規模栽培技術の検討をお願いしたい。 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | <input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | | | |
|---------|--|------|---------------|
| 回答機関名 | 農業技術センター | 担当部所 | 生産技術部・果樹花き研究課 |
| 対応区分 | <input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) ジョイント栽培を活用した果樹の安定生産技術の開発 | | |
| 対応の内容等 | 数アール程度の小規模な導入については、既存の資材(中古などを含む)等を用いることなどにより、大幅に施設コストの削減を図ることが重要であることから、現在進めている研究課題「ジョイント栽培による安定生産技術の開発」の中で、小規模栽培について検討します。 | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |